

2 社労士を目指すようになったきっかけ

いつも一歩先に仕事をしているメンバーが、それ以外にもっと自分を大切に働けるようにして欲しいという思いからです。労働に際する知識を身につけ資格を身につけて会社にできる発言力があれば、周りの人たちの働き方改善の一端にならんと考え、社会保険労務士の資格取得を目指しました。

3 LECを選んだ理由

昨年はほぼ独学で挑んだ試験は、勉強不足でひどい結果でした。暗い気持ちで模試を申し込んだLECの解説動画を見ました。見終える頃には、解説の先生が使った「スタートライン」という言葉が頭を巡り、再挑戦への力が湧いていました。画面越しでも前向きなパワーを伝える力のある先生でした。また、模試の解説冊子を改めて見返したとき、丁寧にカを入れて作り込まれていることがわかりました。LECの教材、花島先生のクラスで一年間頑張りたい。と思う、入塾しました。

4 LECの講義、教材、講師の良かったところ

講義：授業ではテキストの大事な箇所をしるしをつけてから進んでいくので、復習時には重要箇所が整理された情報が視覚で捉えられる状態になり、繰り返し見ると良かったです。時々受講生に問いかける参加型の授業は、毎回要点に気が付かせてくれました。わからなければ復習へ繋げられるので、受身の授業より得る事が多かったと思います。

教材：テキストに重要度の表記があるおかげで学習にメリハリがつけられます。「7割圏外」は授業でふれた箇所以外は全てとぼしめられたが、トータル7割り得点できました。また模試の解説冊子に追加の予想問題集やポイントまとめなどが掲載されていて、とても充実した内容です。

講師：社会人の塾で個人面談までして下さることに正直驚きました。直前8月の面談では模試の結果を見て、今やるべきことを示してくれました。あの面談がなかったら直前期の過激方を誤り、私は今も受験生だったと思います。花島先生には、感謝しかありません。

また、休憩時間には授業以外のふとした時に人間性や垣間見え、その行動から人として大切なことを改めて学んでもらった気がします。

※右ページもご記入をお願いします。

5 復習や学習方法で工夫したところ

初めて通学して二日に西園寺先生のガイダンスを受け、合格体験記を読み、下記を真似しました。
・講義を受けたらその日にテキスト復習。
・次の授業までにその範囲の過去問題を終わらせる。
おかげで早いうちに先延ばしにしない習慣がつかえました。最終から成功者の真似をしてみるのが有効な方法だと思います。
限られた1時間の中、手が使えない時は耳を使う。片手でボウリング、片手で勉強は強いです。8月はひたすら基礎固めを覚悟し、全科目テキスト流し読み、一般常識とFINALテック道場、英文正法、模試の復習に時間を充てました。

6 スランプ克服法・苦しい時、どう乗り切りましたか？

スランプや苦しさは感じませんでした。仕事を支障ではなく支えと考えていました。何れの支えは、クラスメイトの存在でした。志を同じくする人達の姿は、いわば自分の力になっていました。「また来週。」の一言で、一週間頑張りました。クラスメイトがいること、これは通学最大のメリットだと思います。
あと趣味のジョギングの時間は前より身体づくりをしていたことで、長期間の睡眠不足にも耐えられる、本番の体調への不安もありませんでした。

7 今後、社労士資格をどう活かしていきたいですか？

人を大切にできる職場づくりの一端になりたい。
現在民間企業で就業中ですが、辛い道を考えるようになり、既に別の工業の先生から労働力のお話をいただいたので、思い切って転職して働く可能性にワクワクしています。今はまだ「ほんやり」として青写真、排単を承けることで、より魚羊のていど働いていきたいと思っています。

8 これから社労士試験を受験する方へメッセージをお願いします

「LECを信じる」ことが、時間がたつ中で効率的な学習方法だと思います。SNSや口コミで市販の教材が気になっても、使うのはLECの教材のみ。自分の計画や考えと違っても、先生のアドバイスは素直に聞いて実行する。
自分がここで頑張ると決めたなら、信じて合格への近道を歩んでほしいと思います。

ご協力ありがとうございました。